

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 4 月 28 日

事業所名 ちゃーげんき 塩屋

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	○			児童の年齢や活動内容に合わせてグループ分け、1F/2Fと活動に応 じて場所使い分けしている。	
	2	職員の配置数は適切である		○		既定の配置数はいるが、建物が広い為、随時職員の募集応募をして ます。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている		○		トイレや階段に手すり等の設置を行ってます。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる		○		朝と終了前にミーティングを行い、振り返りを行っているが、今後は記 録を残し 社内ミーティングで記録の共有を行う。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	○			送迎時の会話の中で話を聞いたりする事あるが、今後はアンケート 等を行い保護者様の御意見を活動に取り入れる。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	○			ホームページに記載している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている		○		現在、第三者による評価は行っていません。 コンサルタントに運営や支援についてアドバイスをもらい業務改善に 繋げています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している		○		オンライン研修等には参加出来ている。	
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	○			見学・体験時に面談を行い、ニーズを把握し、個別計画を作成に取り 入れてます。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	○			個別記録に行動・情緒・表情を記録し、パターンの把握に努める。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行って いる	○			ミーティングを行い目標をチームで設定しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	○			週ごとの活動が被らないように調整を行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している		○		休日は外出支援がメインとなります。 長期休暇は午前中にプールにいたり午後は個別で苦手な物にチャ レンジ出来るように環境設定を行う。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している		○		個別・集団活動の課題を取り入れるようにしています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	○			朝ミーティングを行い今日の活動の確認を行う。 パート職員にもその日のリーダーさんが一日の流れを伝えるようにし ています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している		○		ミーティングを行い一日の様子を話し合っている。 今後は書面やファイルに残し記録に残すようにする。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている		○		児童一人一人課題を共有出来るように報告会を開く様にしています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断し ている	○			モニタリングに参加し、保護者の思いを傾聴し、放課後等デ イサービス計画 個別計画書の見直しを行う。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	○				

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				児童発達管理責任者が参加している。状況によっては直接支援している指導員も参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○			学校の事務や担任の先には事業所のパーフレットを配り、必要時には連絡を入れて貰える様をお願いしている。進級時には年間予定表を頂くようしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○		医療的ケアが必要な児童は在籍していません。必要な児童が在籍したら主治医・保護者・相談員と連絡体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				保育園と小学校の引継ぎの会議に参加し、保護者の同意のもと情報提供を行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○		オープン当初から現在まで対象児童がいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○		研修や情報交換会に参加し専門機関と連携を取れるようにして行きた
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			地域の児童館の子ども達と一緒にクリーン活動を行った。今後も活動する機会を設ける。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○		コロナ渦の影響で参加出来てません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				送迎時に一日の事業所の様子を伝え、また自宅での様子を聞くように意識している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		現在ペアレント・トレーニングは行っていません。今後、保護者会を開催し、検討予定。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				契約時に説明を行っています。また、必要に応じて説明を行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				電話やメールで相談を頂いた時は電話やメールで終わらせるのではなく時間調整を行い事業所で話を伺い一緒に解決策を探します。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		今年度7月に親子クッキングを、企画し、そのプログラムの中で、保護
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				迅速かつ適切な対応をするように努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				月に一度、活動概要や行事予定をしおりとして配っています。
	35	個人情報に十分注意している	○				個人情報に十分注意しています。また必要に応じて説明を行っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている			○		気持ちカードや絵カードを使って指差して会話出来るように準備はしているが、色々な情報伝達手段を学ぶように努めます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている			○		コロナ渦の影響で地域の方を交えた交流会などは行っていません。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○			各種マニュアルを作成し、誰でも確認出来るようにファイルを作成しています。置き場所も保護者に周知する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				年に2回避難訓練を行う。 定期的に活動で非常災害に備えて確認を行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○			コロナ渦の影響で、外部の講師を呼んだ研修は行えなかった。 事業所内で虐待勉強会を実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○			オープン当初から身体拘束は行っていない。 必要と判断した児童に対しては保護者と児童に事前に説明し、了承を得た上で同意書の記入をしてもらい、放課後等デイサービス計画(個別計画書)に記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○			医師の指示事項を提出して頂く。(現時点では該当児童はいません)
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○			ヒヤリハットが起こってしまったカメラで確認し、状況・原因を確認し次回同じ事が起こらないように事業所ミーティングで解決策を提案する。